

町並み月報

■平成20年6月25日（第47号）

■発行責任者 澤口輝禪

重伝建選定の官報告示がされました。

小浜西組（約19.1ヘクタール）を重要伝統的建造物群保存地区として選定することが、6月9日付けの文部科学省告示第88号により告示されました。今回は、石川県金沢市主計町と、長崎県平戸市大島村神浦地区の3件が選定され、全国合計で83地区となりました。



第1回 役員会報告

日 時：平成20年5月22日（木）午後7時30分～

於 鹿島 町並み保存資料館

出席者：新旧役員30名のうち、出席16名、委任状13名

議長に石田副会長が就き、議事進行

- 1、会長挨拶
- 2、市より報告

今回、重伝建地区に選定されたことに伴い、伝統的建造物の修理、修景に関する補助金交付の申請希望のとりまとめを行う予定です。近日中に西組全戸に案内を発送して、7月1日までに提出していただきます。その後、市の保存審議会などで審査し、21年度補助金対象者を確定します。審査にあたっては、修理・修復の緊急度、景観への貢献度、家庭の状況などが考慮されます。

また、「私の町の宝物」をテーマにして小中学生に絵を描いてもらうので、

その一部を町並み保存資料館で展示も検討していただきたいと説明がありました。

3、議案

(1) 平成19年度事業報告・会計報告

*事業報告（会長）

19年度は主に、市が行った伝統的建造物所有者への保存同意取得の活動に協議会として協力しました。その結果、約63パーセントの同意率となりました。

その他、朝市開催、町並み月報発行、熊川宿への視察研修、大工道具展開催などを開催し、また、総会を1回、役員会を5回開催しました。



町並み保存資料館への入館者は、19年度は、2,890人となり、前年より1,000人以上増加しました。

*会計報告

滝野会計より、19年度収支決算について報告がありました。

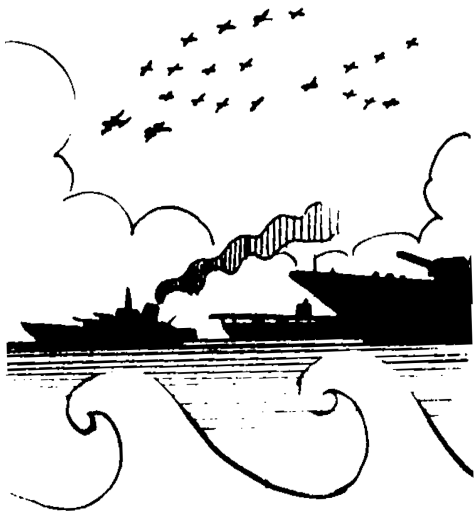
以上につき質疑応答の上、承認されました。

(2) 役員改選の件

会長より、まず、各区長から合計63名の委員推薦があったと報告。また、これまで市が担当していた事務局を役員会内に設けることを説明しました。

理事については、各区長の推薦どおり承認し、顧問については、市議会議員1名を増加することにしました。

その結果、新役員として、会長1名、副会長2名、事務局長1名、会計1名、広報2名、監査2名、庶務4名、理事8名、顧問3名を承認されました。



時、多くの方々が負傷し、私も含め小浜の人達は
ときならぬ銃撃戦に震えました。

6月26日にはこの水雷艦隊に出撃命令が下され、小浜湾を出航し始めたその時、「駆逐艦・榎」はアメリカ軍の投下した機雷に接触し大破、尊い命が数多く失われ、負傷兵も多くでました。その後何回か銃撃されましたが、8月15日の終戦を迎え、乗組員は家族の待つ故郷へと帰還されました。

時は経ち、昭和54年12月、小浜劇の会「久須夜」によって小浜での戦争体験を記録するため「駆逐艦・榎」の悲劇を劇化して上演することになりました。上演を知った当時の乗組員たちは小浜に集まり、再会を喜び合い、そしてその時、亡くなった戦友の慰霊碑を建てようという計画がなされ、戦没した海が望める場所（現在地）に建立されました。

私はあれから毎年6月17日を迎えると、今は誰も顧みない戦争がもたらした「駆逐艦・榎」の慰霊碑にお参りし、戦争のない平穏な世の中であってほしいとお祈りしてきました。小さな町の小さな戦いでさえ、多くの命が失われてきました。世界のどこかで今も続いている戦争により、多くの尊い命が失われていることに心が病む今日このごろです。私にとっても小浜にとっても6月17日は忘れられない日ですと語られました（米谷君子〈貴船区・87歳〉談話より）

原稿募集中!

協議会では町並み月報に掲載する原稿を募集しています。

月報に関するご意見やご感想はもちろん、町並み保存に関する事、紹介したい事柄等何でも結構です。是非、協議会までお寄せ下さい。お待ちしております。

小浜西組歴史的地区環境整備協議会(町並み協議会)

連絡先：浅間1（澤口 輝禅） TEL53-2327